

IBM パーソナルコミュニケーションズ用
プリンタ定義ファイル設定ユーティリティ
IBM PCOMM 用リコーPDFSET ユーティリティ (R55)
Ver2.1
使用説明書

発行：2002 年 4 月（第 2.1 版）

株式会社リコー



PDFSET ユーティリティの概要

概要

本ユーティリティは、IBM パーソナルコミュニケーションズで使用するリコー製プリンタ（IPSi0 / imagio シリーズ）用のプリンタ定義ファイル（PDF）を生成するものです。

印刷条件設定を簡単操作で自由に組合せられますので、ホスト帳票出力でのプリンタ制御を容易に行えます。

作成したプリンタ定義ファイル（PDF）は、パーソナルコミュニケーションズでプリンタ定義テーブル（PDT）に変換して使用します。

動作環境

Microsoft Windows 95

Microsoft Windows 98

Microsoft Windows Me

Microsoft Windows NT Workstaton4.0

Microsoft Windows 2000 Professional

Microsoft Windows XP Professional

対象エミュレータ

IBM パーソナルコミュニケーションズ Ver4.2

IBM パーソナルコミュニケーションズ Ver4.3

IBM パーソナルコミュニケーションズ Ver5.0

対象プリンタ

IPSi0 シリーズ

NX920 / 910 NX810 / 800 NX730N / 720N / 630(N) / 620(N) NX710 / 71

Color8100

imagio シリーズ

MF3530e / 3570e / 4570e MF5570 / 7070 / 8570() / MF105Pro()

Neo220 / 270 Neo350 / 450 Neo600 / 750

各プリンタのオプションとなっています 5577 エミュレーションモジュール（R55）が必要です。

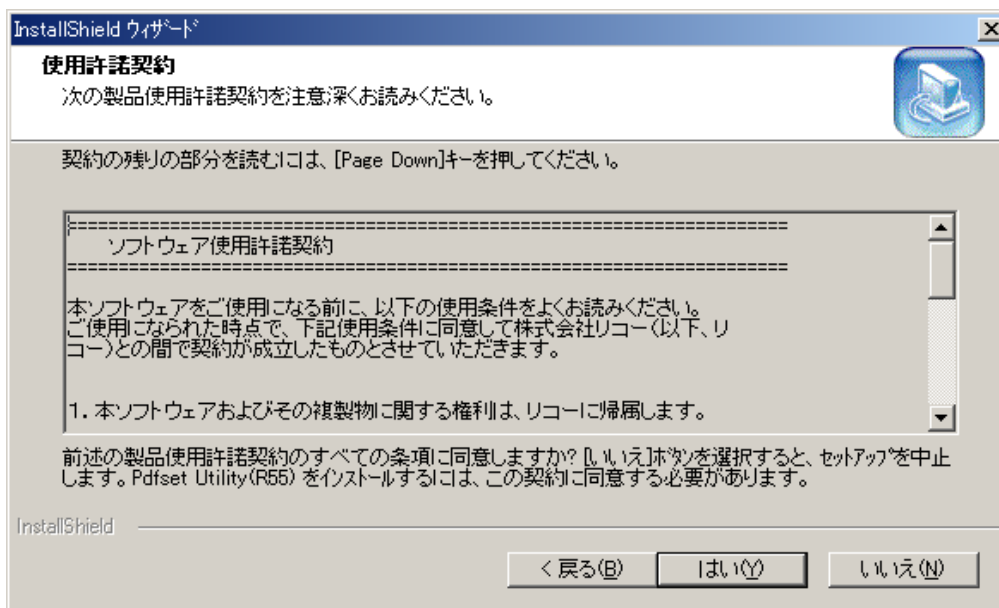
上記以外の機種でも条件付き（詳細は留意事項参照）で使用可能です。



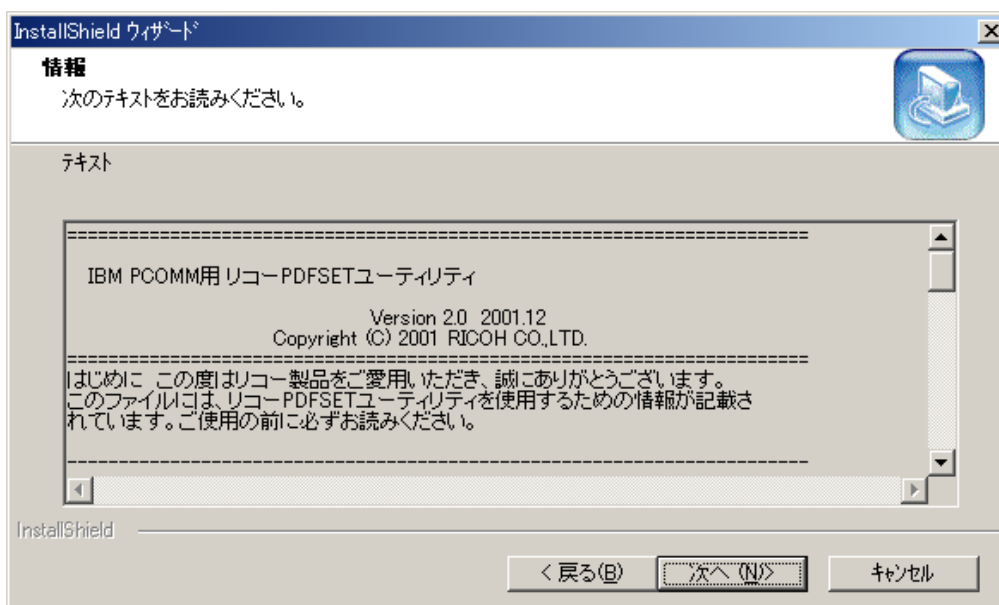
PDFSET ユーティリティのインストール

ここでは、Windows2000 での画面例で説明します。

1. インストールプログラム RICPDF55.EXE を起動します。
2. ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。よろしければ、[はい(Y)] をクリックします。



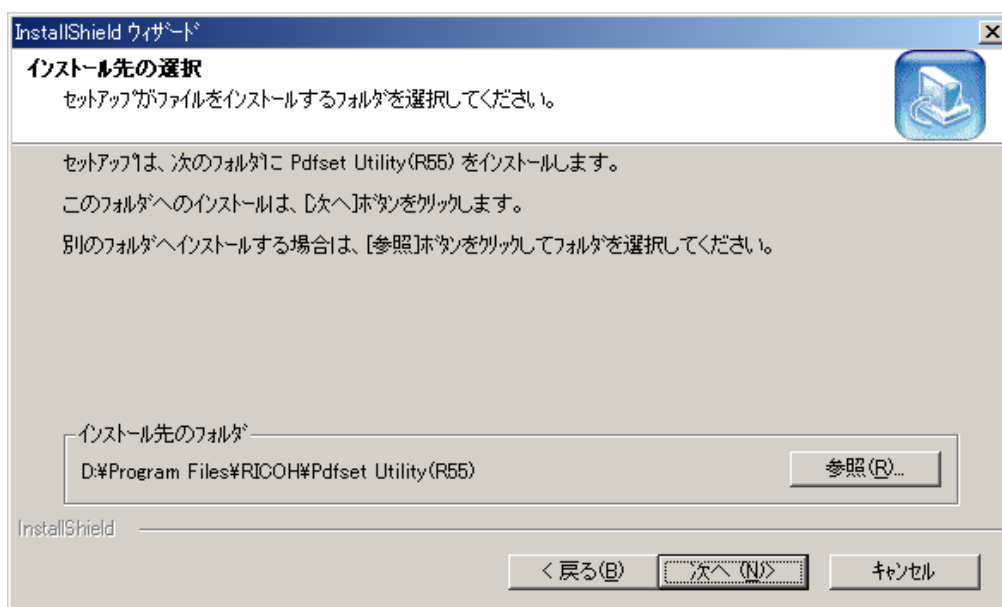
3. PDFSET ユーティリティを使用するための情報が表示されます。
お読みいただいた後、[次へ(N)] をクリックします。



4. インストール先のフォルダを指定します。

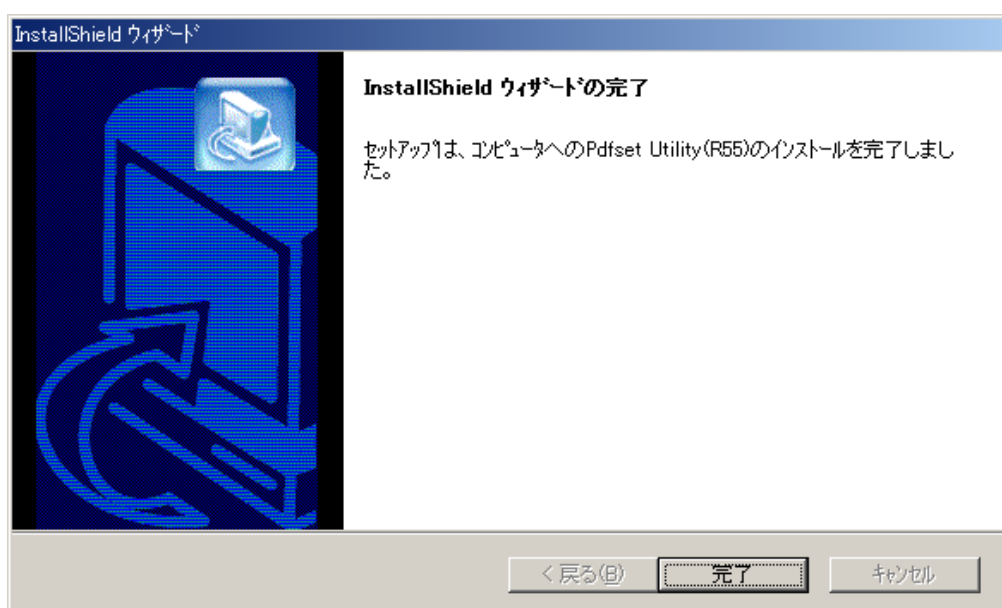
そのままであれば、[次へ(N)] をクリックします。

変更したい場合は、[参照] をクリックしてフォルダを指定します。



5. PDFSET ユーティリティがインストールされ、完了の表示がされます。

[完了] をクリックして終了です。

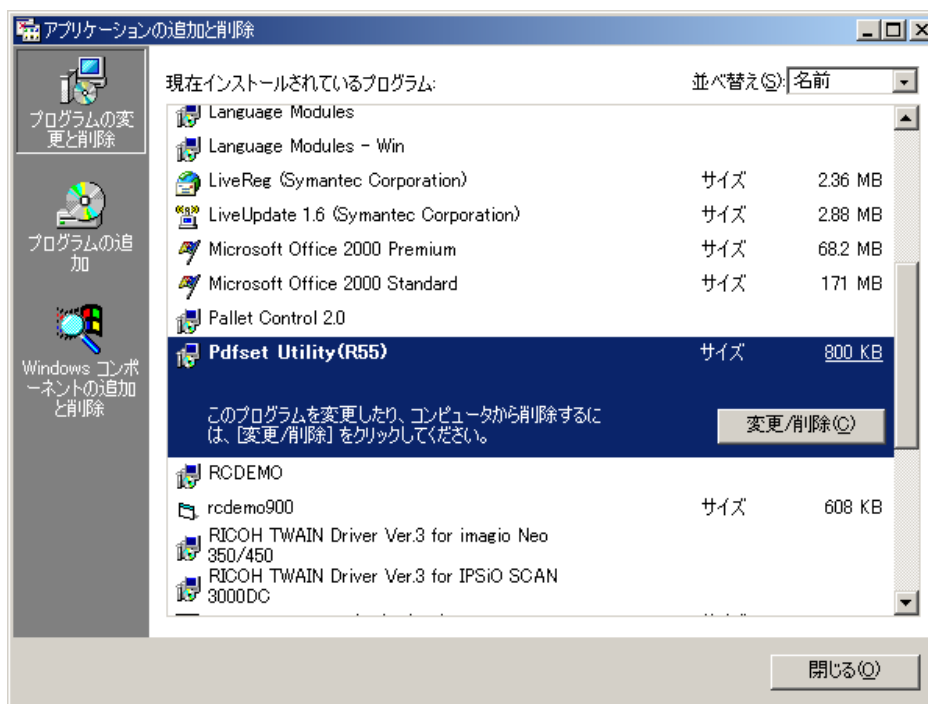




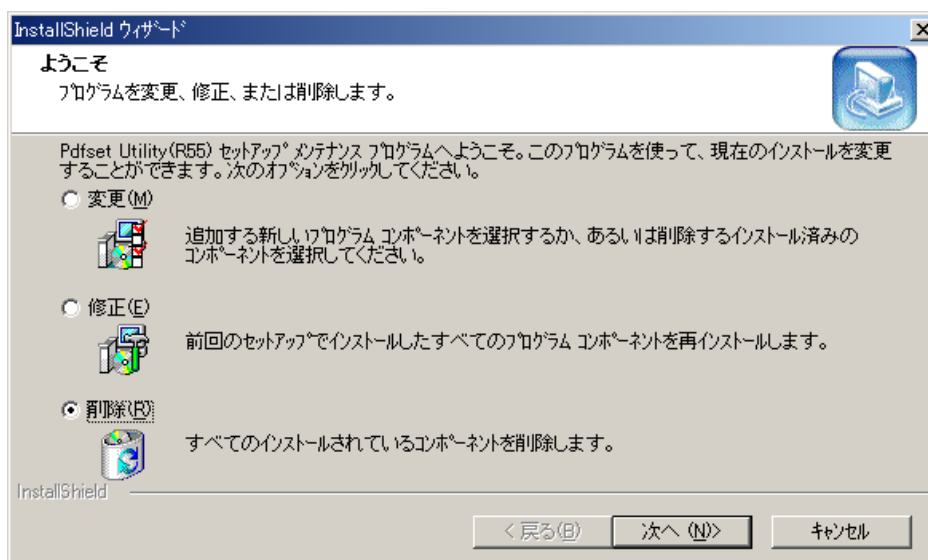
PDFSET ユーティリティのアンインストール

ここでは、Windows2000 での画面例で説明します。

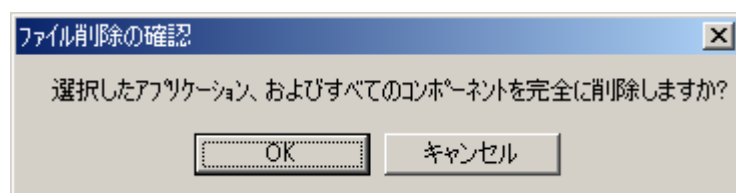
- 1 . [スタート] から「設定」 「コントロールパネル」を起動します。
- 2 . [アプリケーションの追加と削除] を起動して、現在インストールされているプログラム一覧を表示します。[Pdfset Utility(R55)] を選択し、[変更 / 削除] をクリックします。



- 3 . プログラムの変更 / 修正 / 削除の画面が表示されますので、[削除] を選択し、[次へ(N)] をクリックします。

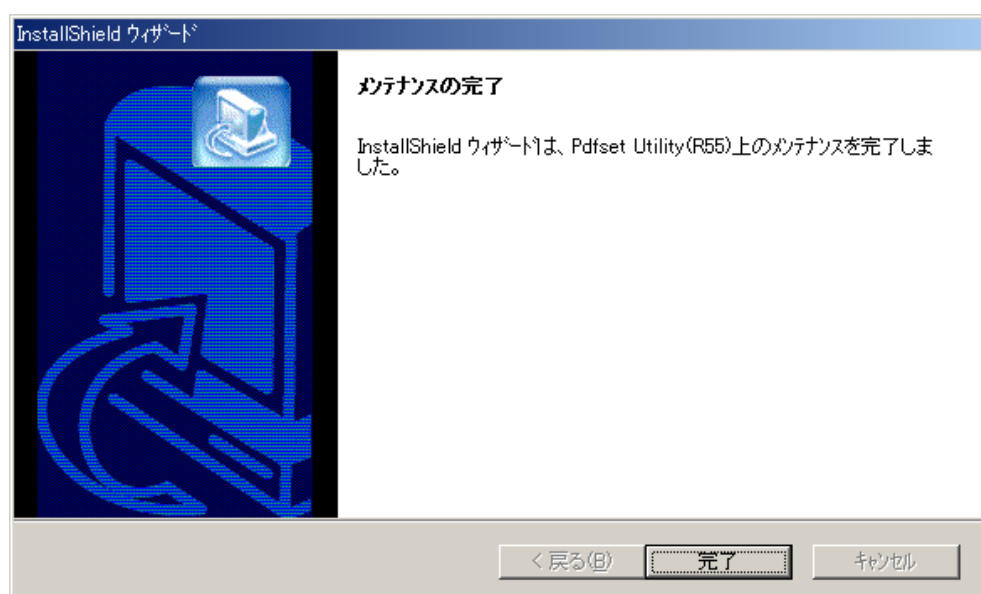


4 . ファイル削除の確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



5 . PDFSET ユーティリティがアンインストールされ、完了の表示がされます。

[完了] をクリックして終了です



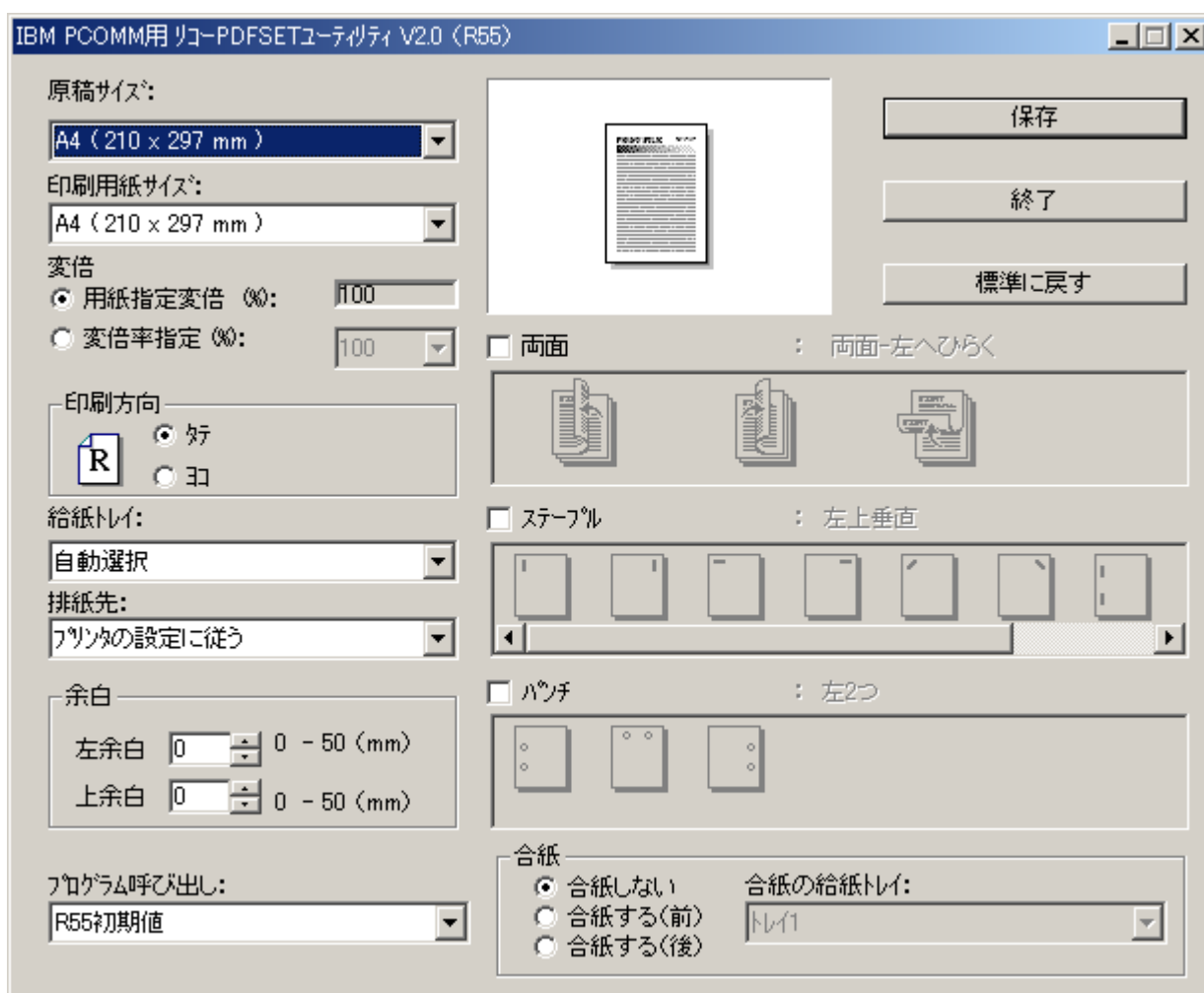


プリンタ定義ファイル (PDF) の作成方法

1. 「スタート」から「プログラム」 「RICOH」 「PDFSET ユーティリティ(R55)」を起動します。



2. ユーティリティ画面が起動されます。



3. 印刷条件を指定します。

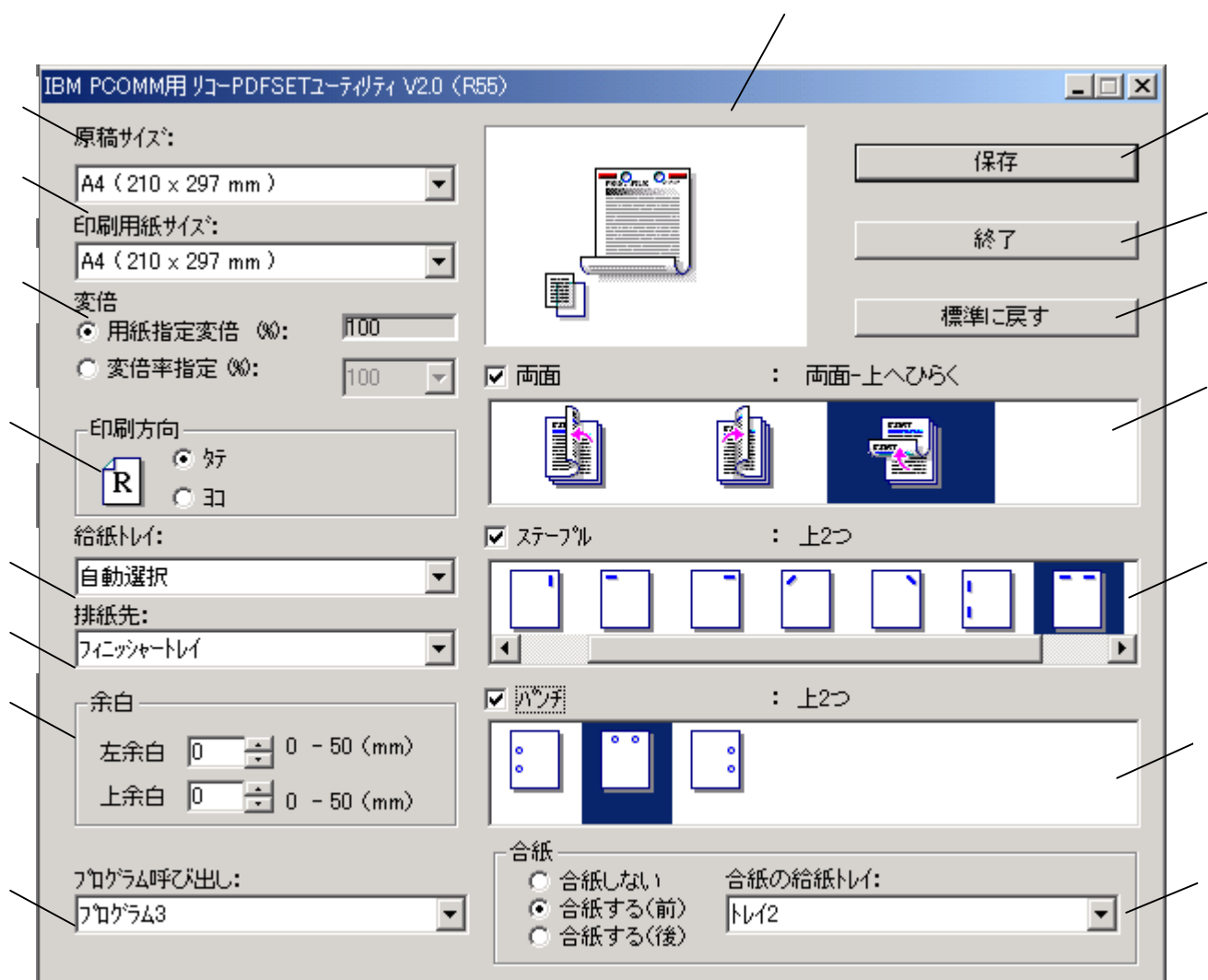


図 1.R55 用画面構成

原稿サイズ

アプリケーションで設定した原稿サイズを指定します。

リストには、設定可能な原稿サイズを表示します。

設定可能な原稿サイズは以下の通りです。

原稿サイズ (表示)	原稿サイズ
A3	A3
A4	A4
A5	A5
B4	B4
B5	B5
連続紙 (15 × 11)	連続紙 (15 × 11)

インストール時の設定は、A4。

印刷用紙サイズ

印刷する印刷用紙のサイズを指定します。

リストには、設定可能な印刷用紙サイズを表示します。

設定可能な印刷用紙サイズは以下の通りです。

印刷用紙サイズ（表示）	印刷用紙サイズ
A3	A3
A4	A4
A5	A5
B4	B4
B5	B5

インストール時の設定は、A4。

変倍

用紙指定変倍と変倍率指定の2種類の変倍方法があります。

設定可能な変倍率は以下の通りです。

変倍率（表示）	変倍率
100%	100%
88%	88%
80%	80%
75%	75%
70%	70%
67%	67%
115%	115%

用紙指定変倍は、原稿サイズと印刷用紙サイズを指定することで変倍率を自動計算します。ただし、原稿サイズと印刷用紙サイズ、変倍率の組み合わせには、制限があります。設定可能な組み合わせは以下の通り。「」は、設定不可。

原稿サイズ \ 印刷用紙サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	連続紙 (15 × 11)
A3	100%			115%		100%
A4	67%	100%		80%	115%	70%
A5		67%	100%		80%	
B4	80%	115%		100%		88%
B5		80%	115%	67%	100%	

変倍率指定は、指定された印刷用紙サイズに指定された変倍率で印刷を行います。

変倍率指定には、原稿サイズと印刷用紙サイズ、変倍率の組み合わせに制限はありません。

変倍率指定を選択した場合、原稿サイズは半輝度となります。
インストール時の設定は、用紙指定変倍、変倍率 100%。

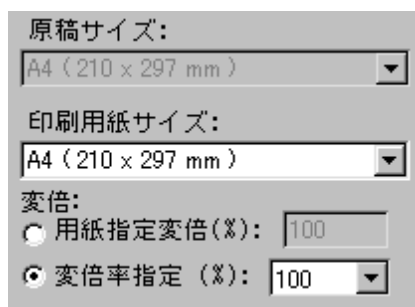


図 2. 変倍率指定

原稿方向

アプリケーションで設定した原稿方向を指定します。
タテ、または、ヨコのいずれかを選択します。
インストール時の設定は、タテ。

給紙トレイ

印刷を行う給紙トレイを指定します。
自動選択は、印刷用紙サイズよりトレイを自動選択します。
設定可能な給紙トレイは以下の通りです。

給紙トレイ (表示)	給紙トレイ
自動選択	自動選択
トレイ 1	トレイ 1
トレイ 2	トレイ 2
トレイ 3	トレイ 3
トレイ 4	トレイ 4
トレイ 5	トレイ 5
トレイ 6	トレイ 6
手差し	手差し

インストール時の設定は、自動選択。

排紙先

印刷された用紙の排紙先を指定します。

「プリンタの設定に従う」は、プリンタ本体に指定されている排紙先へ排紙します。
設定可能な排紙先は以下の通りです。

排紙先（表示）	排紙先
プリンタの設定に従う	プリンタの設定に従う
本体トレイ	本体トレイ
インナートレイ	インナーレイ
左トレイ	左トレイ
フィニッシャートレイ	フィニッシャートレイ
フィニッシャーブルーフトレイ	フィニッシャーブルーフトレイ
プリントポストブルーフトレイ	プリントポストブルーフトレイ
プリントポスト1	プリントポスト1
プリントポスト2	プリントポスト2
プリントポスト3	プリントポスト3
プリントポスト4	プリントポスト4
プリントポスト5	プリントポスト5
プリントポスト6	プリントポスト6
プリントポスト7	プリントポスト7
プリントポスト8	プリントポスト8
プリントポスト9	プリントポスト9

インストール時の設定は、プリンタの設定に従う。

余白

印刷される用紙の左から、また、上からの余白を指定します。

0 から 50 mm までの範囲で 1mm 単位で指定します。

インストール時の設定は、左余白と上余白共に 0mm です。

左余白、または、上余白に負の数を入力した場合、その項目の余白は最大値 50mm となります。

【注意】変倍率が設定されている場合、余白値も変倍されます。

印刷イメージ

印刷された際のイメージを表示します。

保存

から 、 から までの全ての項目の内容をファイルに保存します。
保存先とファイル名の指定を行うダイアログを呼び出します。
保存場所の初期設定はデスクトップとなっておりますが、PDFを保存するフォルダ（通常は PCOMM のインストールディレクトリにある PDFPDT フォルダ）を指定するようにします。

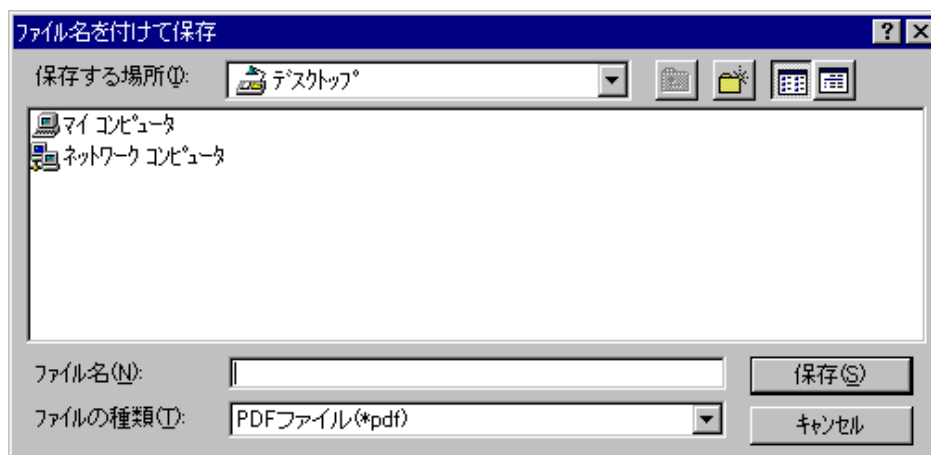


図 3. ファイルの保存ダイアログ

終了

設定された内容を保存せずにプログラムを終了します。

標準に戻す

から 、 から までの全ての項目をインストール時の設定に戻します。

両面

両面印刷を行う場合は、チェックをオンにし、両面のとじ位置を指定します。
両面印刷のチェックをオンにすると両面の選択肢が輝度になり、チェックをオフにすると両面の選択肢が半輝度になります。



図 4. 片面印刷



図 5. 両面印刷

設定可能なとじ位置は以下の通りです。

両面（表示）	両面
両面チェック無し	片面印刷
左とじ	左とじ
右とじ	右とじ
上とじ	上とじ

インストール時の設定は、片面（両面チェック無し）。

ステープル

ステープルを行う場合は、チェックをオンにし、ステープルを行う位置を指定します。ステープルのチェックをオンにすると両面の選択肢が輝度になり、チェックをオフにするとステープルの選択肢が半輝度になります。

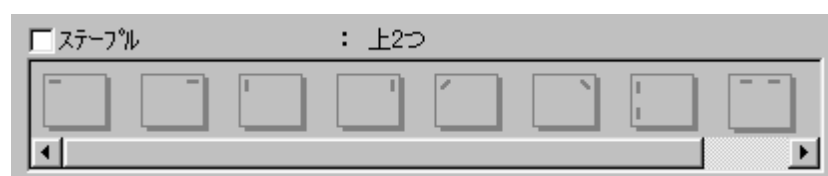


図 6. ステープル無し

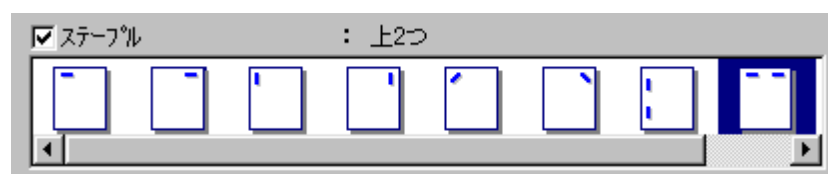


図 7. ステープル有り

設定可能なステープルの位置は以下の通りです。

ステープル（表示）	ステープル
ステープルチェック無し	ステープル無し
左上水平	左上水平
左上垂直	左上垂直
右上水平	右上水平
右上垂直	右上垂直
左上斜め	左上斜め
右上斜め	右上斜め
左 2 つ	左 2 つ
右 2 つ	右 2 つ
上 2 つ	上 2 つ

インストール時の設定は、ステープル無し（ステープルチェック無し）。

パンチ

パンチを行う場合は、チェックをオンにし、パンチを行う位置を指定します。

パンチのチェックをオンにすると両面の選択肢が輝度になり、チェックをオフにするとパンチの選択肢が半輝度になります。

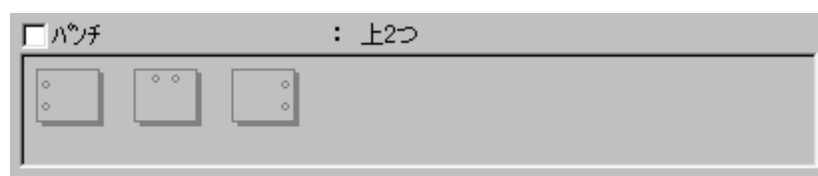


図 8. パンチ無し

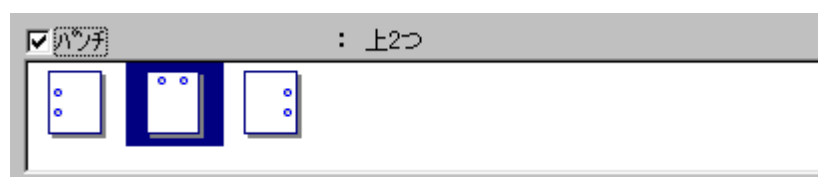


図 9. パンチ有り

設定可能なパンチの位置は以下の通りです。

パンチ（表示）	パンチ
パンチチェック無し	パンチ無し
左 2 つ	左 2 つ
右 2 つ	右 2 つ
上 2 つ	上 2 つ

インストール時の設定は、パンチ無し（パンチチェック無し）。

プログラム呼び出し

プリンタに登録された R55 モードでのプログラムを呼び出します。

設定可能なプログラムは、以下の通りです。

プログラム呼び出し（表示）	プログラム呼び出し
R55 初期値	R55
プログラム 1	プログラム 1
プログラム 2	プログラム 2
プログラム 3	プログラム 3
プログラム 4	プログラム 4
プログラム 5	プログラム 5
プログラム 6	プログラム 6
プログラム 7	プログラム 7
プログラム 8	プログラム 8
プログラム 9	プログラム 9

プログラム 10	プログラム 10
プログラム 11	プログラム 11
プログラム 12	プログラム 12
プログラム 13	プログラム 13
プログラム 14	プログラム 14
プログラム 15	プログラム 15
プログラム 16	プログラム 16

インストール時の設定は、R55 初期値です。

【注意】R55 モード以外のプログラムが登録されている番号は指定しないで下さい。

合紙

合紙の挿入タイミング、合紙に使用する給紙トレイを設定します。

合紙しないを選択しているときは、合紙の給紙トレイは、半輝度になります。

合紙は何も印刷されませんので、再利用できます。

設定可能な合紙トレイは、以下の通りです。

合紙トレイ（表示）	合紙トレイ
トレイ 1	トレイ 1
トレイ 2	トレイ 2
トレイ 3	トレイ 3
トレイ 4	トレイ 4
トレイ 5	トレイ 5
トレイ 6	トレイ 6

インストール時の設定は、合紙しない、半輝度でトレイ 1 です。



パーソナルコミュニケーションズ (PCOMM) の設定

1. ワークステーションプロファイル (WS) 設定 **【重要】**

作成した PDF 設定を有効にするため、プリンターセッションのワークステーションプロファイルの内容を事前に変更しておく必要があります。

本内容が未設定の場合、最初の印刷ジョブのみ有効となり、2 回目以降の印刷ジョブは機能しなくなりますので、ご注意ください。

通常、ワークステーションプロファイルは PCOMM のインストールディレクトリの PRIVATE ディレクトリに作成されています。ファイル名はセッション登録時に任意に付けられ、拡張子は .WS となっています。ワークステーションプロファイルはテキストデータですので、メモ帳等のテキストアプリケーションで編集できます。

【ワークステーションプロファイル保存先例】

```
C:\Program Files
├── ¥Personal Communications
│   └── ¥private
│       └── printer1.ws
```

【設定内容】

[printers] セクションに UseDefault オプションを追加記述します。

UseDefault の記述がない、もしくは UseDefault = N となっている場合、**UseDefault=Y** を記述してください。

【設定例】

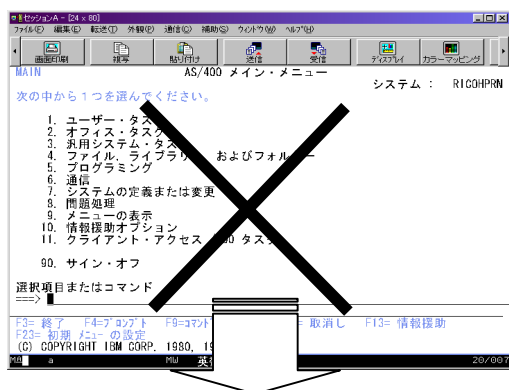
```
    }

[printers]
UseDefault=Y ← 追加
printer=RICOH IPSi0 NX910,winspool,IP_133.139.150.128
PDT=Y
    }
```

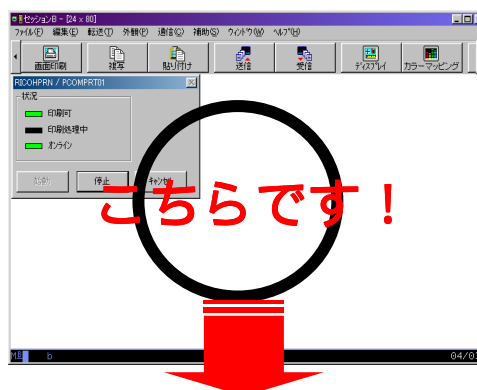
2. P C O M M プリント設定

P D F S E T で作成した P D F ファイルを P D T 形式に変換し、プリンタセッションで P D T を選択します。ここでは、P C O M M バージョン J 4.3 での画面例で説明します。

印刷設定を行うセッションを確認します。

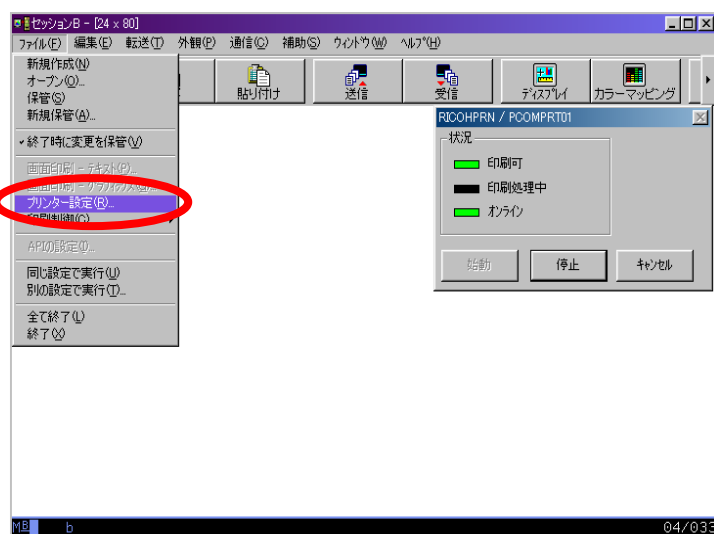


< 端末画面セッション >

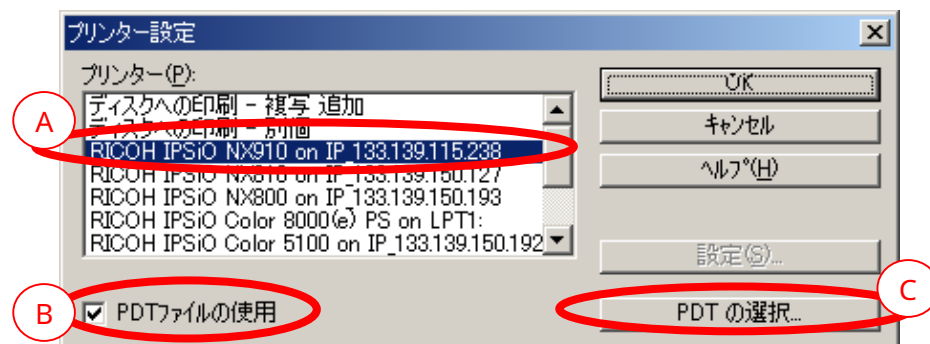


< 端末プリンタセッション >

[ファイル] - [プリンター設定] で端末プリンターの設定メニューに入ります。

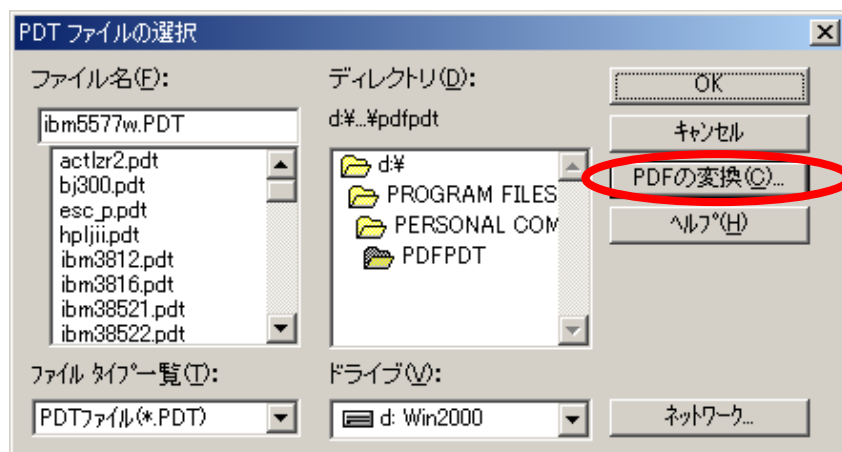


プリンタ設定画面が表示されます。

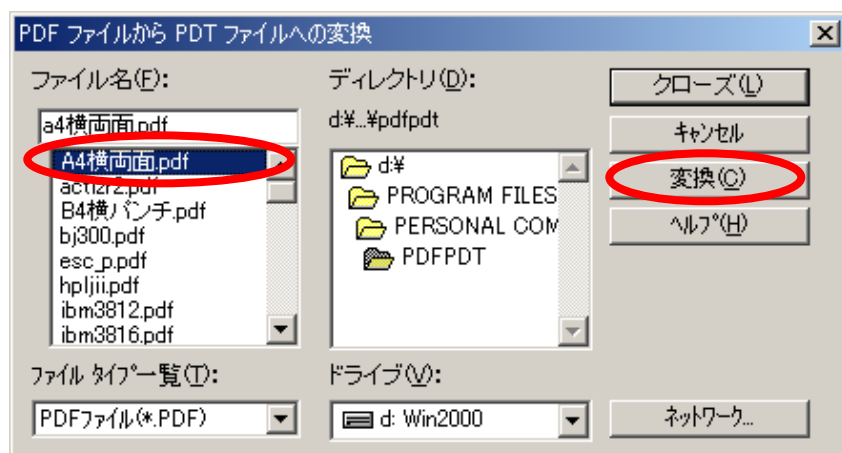


- (A) 出力先ポートを選択します。
Windows プリンタフォルダ内に登録済みのドライバモデル一覧が表示されますので、ホスト出力したいプリンタへの出力先のドライバを選択します。
- (B) 「PDTファイルの使用」をチェックします。
ここをチェックすることで、PDT経由の印刷を宣言した事になります。
- (C) 印刷に使うPDT選択画面に入ります。
「PDTの選択」ボタンを押下し、PDTファイルリスト一覧を表示します。

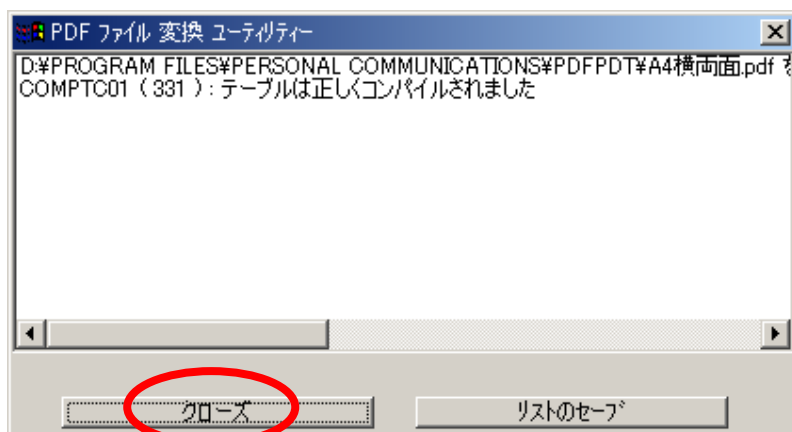
PDTファイルの選択画面が表示され、[PDFの変換]をクリックします。



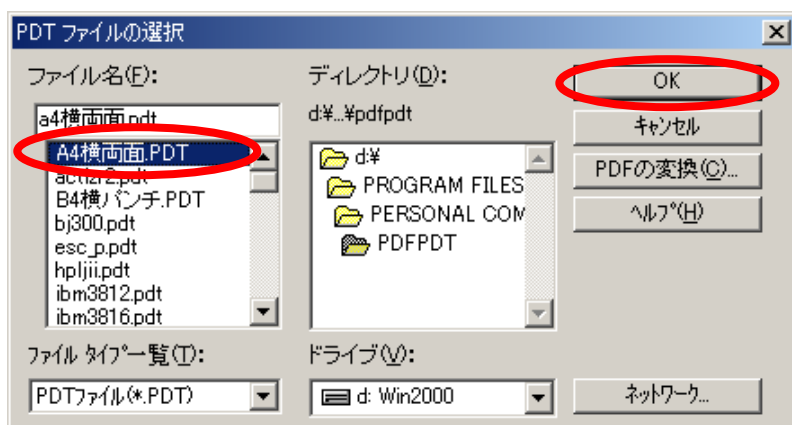
作成したPDFを一覧から選択し、[変換]をクリックします。



P D F の構文内容に問題がなければ、下記メッセージが出力され、P D T ファイルが作成されます。
正しくコンパイルされたことを確認できましたら、[クローズ] をクリックします。



P D T ファイルの選択画面に戻りますので、作成された P D T を選択し[O K] をクリックします。



プリンタ設定画面で、[O K] をクリックして終了です。



PDFSET ユーティリティ注意・留意事項

1．対象プリンタ以外での使用について

明記してあります対象プリンタ以外でも、リコーの 5577 エミュレーション搭載可能機種であれば、使用可能です。但し、「排紙先」、「ステープル」、「パンチ」は使用できませんのでご注意ください。
なお、本設定項目をデフォルト以外に設定した場合、不要なページが印刷されてしまいます。

2．オプション構成について

「給紙トレイ」、「排紙先」、「両面」、「ステープル」、「パンチ」、「印刷用紙サイズ」、「合紙の給紙トレイ」指定はプリンタ機種やオプション構成に依存しておりません。（すべて選択可能です。）
よって、実際に利用するプリンタ機種／構成をご確認の上、設定するようにしてください。

3．後処理（ステープル、パンチ）の利用について

「ステープル」、「パンチ」指定は条件（組合せや用紙セット方向など）により、プリンタ側で解除されることもありますので、必ず実機での出力確認をするようにしてください。

4．プログラム呼び出しについて

プリンタ側の R55 印刷条件で設定された内容を利用したい場合、そのプログラム番号を指定します。
（例）漢字 / ANK フォント、文字ストリング など
PDFSET の設定項目と重複する項目については、無効となったり重複作用したりしますので、ご注意ください。（例）左 / 上余白、変倍率 など

5．合紙で利用するトレイの用紙種類について

合紙は何も印刷されませんので再利用できます。よって、色紙などを利用すると仕分けしやすくなりますが、通常の印刷用紙として使用されてしまう可能性があります。
そこで、トレイ毎に指定可能な「用紙種類」機能がありますので、「色紙」や「特殊紙」設定で運用されることをお勧めします。（プリンタ機種により設定できない機種があります）